

BEADS COAT SERIES

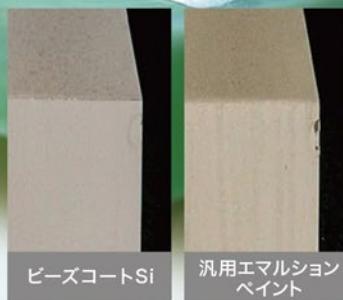


超撥水・高耐候形つや消し塗料

ビーズコート シリーズ



ビーズコートシリーズはハスの葉に似た表面の微細突起構造と疎水特性により、塗膜表面についた水がビーズのように丸まって水滴となり、泥などの異物を絡め取りながら転がり落ちることで、いつまでもきれいな塗膜を保ちます。また、特殊変性シリコーン樹脂・ふっ素樹脂・無機有機ハイブリッド樹脂が持つ卓越した撥水性と耐候性は長期にわたり塗膜の撥水性を維持し建物を守ります。更に従来のつや消し塗料にはない可とう性を有しヘアクラックを抑制します。



▲屋外暴露による汚染の比較(1年間)
※その他ビーズコートシリーズ製品にも同様の効果が認められます。

| ハスの葉構造を応用した超撥水性能



ハスの葉の上では、雨水や露はビーズのような球状の水滴となって落ちて行きます。このハスの葉構造の原理を応用し、表面に微細な凹凸を施したビーズコートシリーズは、泥汚れや雨筋、水濡れによるかびや藻の発生を抑制し塗膜の美観を長期にわたり保ちます。「ハスの葉効果」は、雨水に含まれた汚染物質を寄せ付けないだけでなく、埃や砂塵を水滴に絡め

取る「自浄作用」を發揮します。劣化しにくく汚れにくいビーズコートシリーズは、メンテナンスコストの低減にも貢献します。

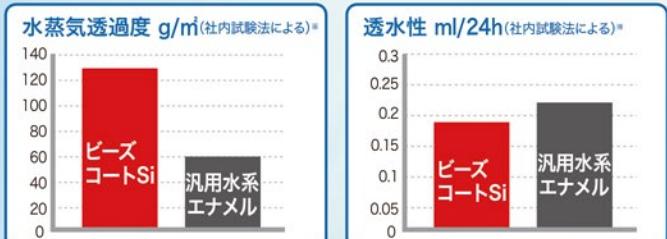
| 環境・健康への配慮



ビーズコートシリーズ(壁用)はホルムアルデヒド放散等級は最高等級のF★★★★☆を取得。その他にも厚生労働省がシックハウスの可能性を指摘する物質は含んでいません。

| 塗膜の透湿機能で結露を防止

塗膜中に形成されたナノサイズの細孔を通して建物内部の水蒸気を外部に発散し、建物の結露防止に寄与します。また、雨水は浸透しにくく、汎用水系エナメルと同程度の防水性を有します。

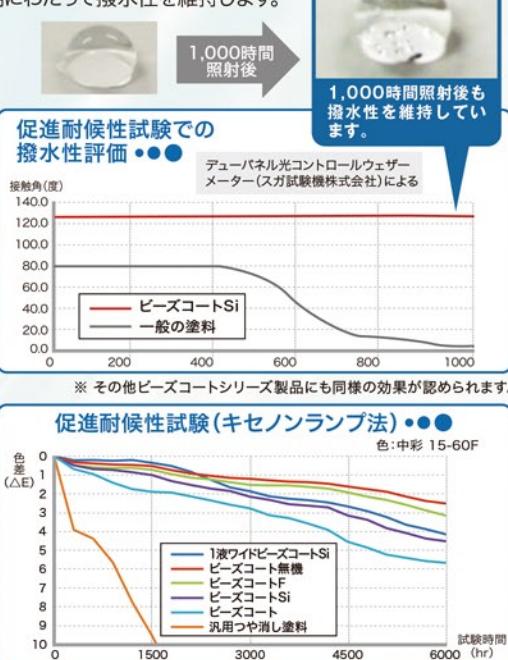


*下塗りは、サミフラを使用。

※その他ビーズコートシリーズ製品にも同様の効果が認められます。

| ラジカル制御で耐候性がさらに向上

※「ビーズコート」除く
ビーズコートシリーズは耐候性に優れた樹脂と当社独自のラジカル制御技術により、塗膜は耐候性に優れ、長期にわたり撥水性を維持します。



| 改修にも最適

ビーズコートシリーズ(壁用)は、つや消し塗料でありながら、塗膜は可とう性を有するため、可とう形改修用仕上塗材の上塗りに適応します。

| 微生物汚染にも強い

塗膜表面が濡れにくいため、かび・藻などの発生を防ぎ、微生物汚染から建物を守ります。

※ビーズコートBIO、ビーズコート無機BIO、ビーズコートフレッシュBIO、ビーズウォールBIO、1液ワイドビーズコートBIOは、更に強力な防かび・防藻性を有しています。

■荷姿	製品名	系統	容量	色相	■塗装適用範囲
水系	1液ワイドビーズコート Si	弱溶剤系	15kg / 4kg	白 / 黒 / 赤 / 赤さび色 オーカー色 / 黄色 / 紺 淡彩色 / 中彩色 / 濃彩色	一般内外壁、柱、廊下壁、階段壁、軒裏、天井、建物基礎部
	1液ワイドビーズコート BIO		16kg / 3kg		コンクリート、モルタル、PCパネル、ALCパネル、スレート、石膏ボード、窓枠系サイディングボードなど
	ビーズウォール Si / ビーズウォール BIO		15kg / 3kg		アクリルリシン、吹付タイル、スタッコ、单層弹性*、弹性タイル*、EPの活膜、意匠性塗材
	ビーズコート 無機 / ビーズコート 無機 中塗		16kg / 3kg		
	ビーズコート無機BIO / ビーズコート無機BIO 中塗		20kg / 4kg		
	ビーズコート F / ビーズコート F 中塗		20kg		
	ビーズコートSI / ビーズコート BIO		16kg / 3kg		
	ビーズコート		20kg		
	ビーズコートフレッシュ無機 / ビーズコートフレッシュF		20kg		
	ビーズコートフレッシュ・ビーズコートフレッシュBIO		15kg / 3kg		
	ビーズコート基礎用P・ビーズコート 軒天用P				
	ビーズコート基礎用S・ビーズコート 軒天用S				
	ビーズルーフF-Si				

*下塗りには、WBリマーク弾性フラーRE、WBリマーク弾性フライEPOを使用してください。ビーズウォールSiの下塗りには、高弾性改修用下地調整塗材WBリマーク高弾性ウレタンフライも使用可能です。

《超撥水》無機有機ハイブリッド樹脂/ふつ素樹脂/特殊変性シリコーン樹脂 ●●●

外装用つや消し塗料 シリーズ

■ ハスの葉から流れ落ちる水滴のように、ロータス効果で外壁を保護します。

水系

超撥水 ラジカル制御形 水系無機有機ハイブリッド樹脂塗料

ビーズコート無機

超高耐候 ハルス配合

ビーズコート無機 BIO 強力防かび・防藻タイプ

超撥水 ラジカル制御形 水系ふつ素樹脂塗料

ビーズコートF

超高耐候 ハルス配合

超撥水 ラジカル制御形 水系特殊変性シリコーン樹脂塗料

ビーズコート Si 高耐候

ビーズコート BIO 強力防かび・防藻タイプ

超撥水 水系特殊変性シリコーン樹脂つや消し塗料

ビーズコート

ウォールバリアNBシステム対応

超撥水 ラジカル制御形 特殊変性シリコーン樹脂塗料

ビーズウォール Si 超高耐候 ハルス配合

ビーズウォール BIO 強力防かび・防藻タイプ

弱溶剤系

業界初

ヤニ・シミ止め効果

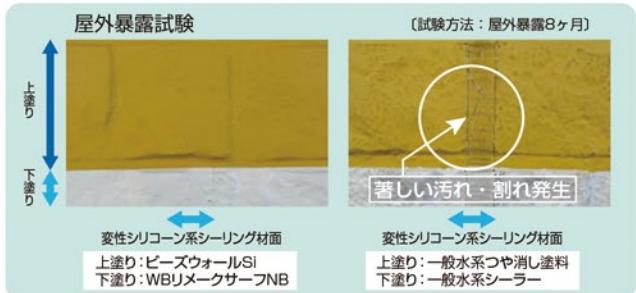
超撥水 ラジカル制御形弱溶剤系 NAD 特殊変性シリコーン樹脂塗料

1液ワイドビーズコート Si 超高耐候 ハルス配合

1液ワイドビーズコート BIO 強力防かび・防藻タイプ

NBシステム(ノンブリード)の特長

ウォールバリアNBシステムは、シーリング部の汚染やひび割れを抑制する、ヘアクラック充填効果のある、窯業系サイディングボードの改修に最適な次世代型改修システムです。



・ビーズウォールSiは、NBシステムに対応する柔軟な塗膜性能を有します。

・シーリング汚染を抑制するには、下塗りとして必ずWBリメークサーフNBをご使用ください。WBリメークサーフNBは幅広い上塗り色に対応するため白色から濃色までの標準色8色を設定しております。

※詳細は、ウォールバリアNBシリーズ見本帳をご参照ください。

標準色



▲ MA002 (淡彩)



▲ MA005 (淡彩)



▲ MA009 (淡彩)



▲ MA010 (淡彩)



▲ MA013 (淡彩)



▲ MA001 (淡彩)



▲ MA204 (淡彩)



▲ MA602 (淡彩)



▲ MA455 (淡彩)



▲ MA417 (淡彩)



▲ MA500 (淡彩)



▲ MA201 (淡彩)



▲ MA401 (淡彩)



▲ MA352 (淡彩)



▲ MA403 (淡彩)



▲ MA303 (淡彩)



▲ MA419 (淡彩)



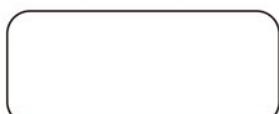
▲ MA411 (淡彩)



▲ MA428 (淡彩)



▲ MA350 (淡彩)



▲ MA650 (淡彩)



▲ MA607 (淡彩)



▲ MA320 (淡彩)



▲ MA271 (淡彩)

※1.見本帳に掲載された各製品の色見本は紙に塗装していますので、実際の仕上がり(色・つや・模様)と多少異なります。ご了承ください。

※2.色見本には撥水効果はありません。

※3.同じ色相でも、旧塗膜のテクスチャーにより多少異なって見える場合がありますのでご了承ください。

意匠性仕上塗材塗替用仕上塗材 シリーズ セラミック配合砂壁調

■ 意匠性塗材の質感・素材を損なわずに、砂壁調の風合いに仕上げる塗材です。

- | ビーズコートフレッシュ無機
- | ビーズコートフレッシュF
- | ビーズコートフレッシュ
- | ビーズコートフレッシュ BIO

標準色

ビーズコートフレッシュ
[BF-286] (中彩)

▲ BF-100 (淡彩)	▲ BF-808 (淡彩)	▲ BF-444 (淡彩)	▲ BF-178 (淡彩)
▲ BF-830 (淡彩)	▲ BF-470 (淡彩)	▲ BF-441 (中彩)	▲ BF-180 (中彩)
▲ BF-842 (淡彩)	▲ BF-315 (淡彩)	▲ BF-445 (中彩)	▲ BF-186 (中彩)
▲ BF-853 (淡彩)	▲ BF-381 (淡彩)	▲ BF-286 (中彩)	▲ BF-290 (濃彩)
▲ BF-836 (淡彩)	▲ BF-439 (淡彩)	▲ BF-328 (中彩)	▲ BF-811 (中彩)
▲ BF-837 (中彩)	▲ BF-323 (淡彩)	▲ BF-330 (中彩)	▲ BF-510 (中彩)

基礎巾木専用塗料

■ 撥水機能により汚れがつきにくい低汚染タイプです。 ■ 地下からの水蒸気を放散する透湿性塗膜です。

| ビーズコート 基礎用 P ペイントタイプ

■ 塗膜の透湿性により、床下の湿気を屋外に放散すると同時に、基礎コンクリートの中性化を抑制します。

▲ BC-800 (淡彩)	▲ BC-770 (淡彩)	▲ BC-670 (淡彩)	▲ BC-650 (淡彩)

注1) 激しい降雨などにより、素地の含水率が透湿性能を超える場合、塗膜に不具合を生じる場合があります。

注2) テクスチャーより同じ色相でも多少異なって見える場合がありますのでご了承ください。

注3) BC-800:日塗工N-80近似色 BC-770:日塗工25-70A近似色 BC-670:日塗工19-65B近似色 BC-650:日塗工N-65近似色

塗装上の注意事項

- 素地は、十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 気温5℃以下、湿度85%以上または結露が懸念される場合は、塗装を避けてください。
- 塗料は十分にかくはんしてからご使用ください。うすめすぎは、スケ・仕上がり不良などの原因になりますので注意してください。
- 塗装後に結露を生じますと、塗膜がタレたり、シミになりますので、冬期や雨天の塗装には、十分ご注意ください。
- 各工程の塗装間隔は、所定の時間を厳守してください。
- 塗料の取扱い時、塗装時は、換気を行ってください。また塗装後も乾燥のために、換気を十分に行ってください。
- 新設塗装では、必ずシーラー(下塗り)を塗装してください。吸い込みの苦しい面などは、予めワイヤードシーラーEPOまたはカチオノンシーラーEPOを塗装してください。(基礎巾木専用品は除く)
- 既設、巣穴、ひび割れ及びボード類のジョイント部などはバテまたはラフタンカチオンSCCフィラーなどで平滑に調整してください。(但し、外部のバテ使用は不可)
- シーリング材への直接塗装は、シーリング材が十分に硬化していることを確認の上、シーリング材上でのひび割れ低減効果がある(下塗)WBIメーカークサフNB、「上塗」ビーズウォールSIの塗装を推奨いたします。その他(ビーズコートシリーズ)をシーリング材へ直接塗装する場合は、塗膜が十分に硬化していることを確認の上、予めラフタン逆プライマーを塗装してください。(ボリサルファイド系シーリング材の場合は2回塗りしてください。)シリコーン系及びポリゴム系シーリング材へは、塗装を避けてください。
- ALC/パネル面はラフタンカチオンSCCフィラーまたはスズカプロサフで全面に素地調整してください。
- 取り付け金具、くぎ頭などは、予めさび止め塗料で塗り付けてください。
- 外部塗装での赤、黄色系の使用は、他の色に比べ保色性が劣りますので、留意ください。
- 飲付け塗装の場合は、飛散防止に十分注意し、養生などを行ってください。

- ベンチ・ジャングルジムなど人が乗る物、またテーブル・カウンター・棚など物を置くものへの塗装は避けてください。
- 補修塗りは同一ロットの塗料を、同一の塗装方法で行ってください。
- 水系塗料の塗装に用いたいはけ、ローラーなどの用具は早めに水洗いしてください。弱溶剤系・溶剤系塗料の塗装に用いたいはけ、ローラーなどの用具の洗浄には、スズカシンナー#1000または#2000をご使用ください。
- カチオンシーラーEPOは、一般的の水性塗料に用いた塗装器具を共用すると固まりますので、ご注意ください。また小分けする際はプラスチック容器をご使用ください。金属容器の場合、サビを生じるおそれがあります。

- ビーズコートシリーズの撥水性能は、塗装後2日程度(23°C)で発現します。水系塗料の場合は、降雨、結露による水分の影響により塗膜中の水溶性成分が表面に溶出し、粘着物などとなって析出し、雨ジミ等の不具合を生じる場合があります。
- 特に黒や茶などの中濃色については、雨ジミなどが目立ちますのでご注意ください。
- 低温時や高温時、養生シートなどで風の通りが悪い場合は、造膜(乾燥)が遅れますので、天候、気温、雨養生など、施工管理に十分ご留意ください。また、造膜後も水が長時間留まる部位や、濡れた雨具等が長時間接触する状態になると、雨ジミなどの不具合が生じますのでご留意ください。

注①) 建物の構造、塗装部位(雨のかかりが少ない面、汚れが多量に集まる面など)によっては、低汚染効果が発揮されないことがありますのでご了承ください。

② 各製品の容器には、取り扱い上の注意事項などを記載していますので、必ずお読み頂き、正しく安全にご使用ください。また、製品の詳細な内容が必要な時には、安全データシート(SDS)をご参照ください。SDSは当社ホームページよりダウンロードしてください。

軒裏天井専用塗料

■撥水機能により汚れがつきにくい低汚染タイプです。 ■下地からの水蒸気を放散する透湿性塗膜です。

■ビーズコート 軒天用 P ペイントタイプ

■塗膜の透湿性により、下地からの水分の影響を緩和し、膨れや剥がれを抑制します。

■ビーズコート 軒天用 S セラミック配合細骨タイプ

■微弾性で厚膜の塗膜は、へアクラックを充填保護し、優れたひび割れ追従性を示します。



↑ BC ホワイト (淡彩)



↑ BC ライトグレー (淡彩)



↑ BC ベージュ (淡彩)



↑ BC グレー (濃彩)



↑ BC ホワイトスマート (淡彩)



↑ BC マウンテングレー (淡彩)



↑ BC チャコールグレー (濃彩)



↑ BC ブラウン (濃彩)

注1)激しい降雨などにより、素地の含水率が透湿性能を超える場合、塗膜に不具合を生じる場合があります。

注2)テクスチャーにより同じ色相でも多少異なって見える場合がありますのでご了承ください。

注3)BCホワイト:日塗工N-90近似色 BCライトグレー:日塗工N-77近似色 BCベージュ:日塗工19-80D近似色 BCグレー:日塗工75-40B近似色 BCホワイトスマート:日塗工N-85近似色 BCマウンテングレー:日塗工25-65B近似色 BCチャコールグレー:日塗工75-30B近似色 BCブラウン:日塗工05-30B近似色

《超撥水》ふっ素樹脂/特殊変性シリコーン樹脂●●●

屋根用つや消し塗料シリーズ



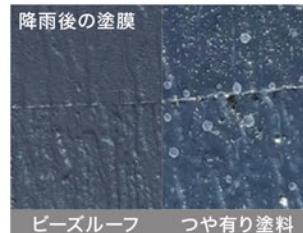
■ロータス効果で屋根を保護します。

■超撥水 ラジカル制御形 水系ふっ素樹脂塗料

■ビーズルーフ F 超高耐候 ハルス配合



↑ ビーズルーフ つや有り塗料



↑ ビーズルーフ つや有り塗料



↑ つや消し モスグリーン(濃彩)



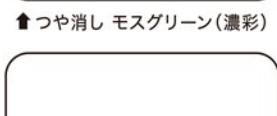
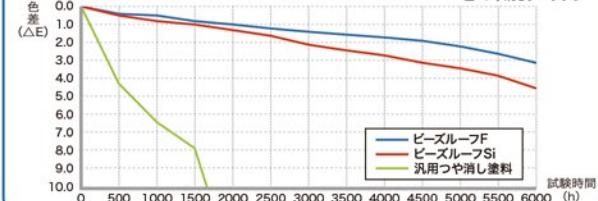
↑ つや消し ワインブラウン(濃彩)

■超撥水 ラジカル制御形 水系特殊変性シリコーン樹脂塗料

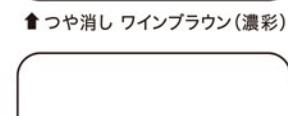
■ビーズルーフ Si 高耐候 ハルス配合

■促進耐候性試験(キセノンランプ法)●●●

色:つや消しダークグレー



↑ つや消し ダークグレー(濃彩)



↑ つや消し カカオブラウン(濃彩)



↑ つや消し ロイヤルブルー(特紺)



↑ つや消し チャコールグレー(濃彩)

標準(新設・塗替)塗装仕様

■金属系素地

工程	塗 料	調 合 (重量比)	標準塗付量 (Kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (23°C)	塗装方法
素地調整	新設時	・油脂類はシンナーで拭き取る。 ・素地表面の汚染付着物は十分に清掃する。 ・素地は十分乾燥させる。				
	塗替時	・発錆部はサンダー、ワイヤーブラシ、研磨紙などを用いて入念に除去する。 ・花咲き、チョーキングなどの劣化塗膜は皮すき、サンダー、ブラシで除去する。 ・油脂類はシンナーで拭き取る。 ・素地表面の汚染付着物は十分に清掃する。(ブラシ・エアブロー・高圧水洗など) ・素地は十分乾燥させる。				
下塗り	1液ワイドさびストップ 塗料用シンナー	100 0~5	0.12~0.18	1~2	16時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り
上塗り	ビーズルーフシリーズ 清 水	100 5~15	0.12~0.20	2	(工程内) 4時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り

□使用可能下塗:1液ワイドさびストップ・ワイドさびストップ・ワイドラスノンEPO・ワイド浸透シーラーホワイト・ワイド浸透シーラーブラック・リフノン・エボマイルド・エボプロ・さびストップなど

■セメント系素地

工程	塗 料	調 合 (重量比)	標準塗付量 (Kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (23°C)	塗装方法
素地調整	新設時	・素地表面の汚染付着物は十分に清掃する。(ブラシ・エアブロー・高圧水洗など) ・素地は十分乾燥させる。				
	塗替時	・フックボルト及び取付金具の発錆部はサンダー、ワイヤーブラシ、研磨紙などを用いて入念に除去する。 ・花咲き、チョーキングなどの劣化塗膜は皮すき、サンダー、ブラシで除去する。 ・油脂類はシンナーで拭き取る。 ・素地表面の汚染付着物は十分に清掃する。(ブラシ・エアブロー・高圧水洗など)(特に、重なり部分や溝、金具周辺は入念に清掃する) ・素地は十分乾燥させる。				
下塗り	カチオンシーラーEPO 清 水	100 (無稀釀)	0.07~0.17	1	2時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り
上塗り	ビーズルーフシリーズ 清 水	100 5~15	0.12~0.20	2	(工程内) 4時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り

□使用可能下塗:ワイドシーラーEPO・ワイド浸透シーラーEPO・ワイド浸透シーラーホワイト・ワイド浸透シーラーブラック・リフノン・クリヤシーラーEPO・ホワイトシーラーEPO・ピナクルシーラー・ピナクルホワイト・ラフトンエボキシシーラーなど

■注意事項

- 洋風コンクリート瓦(モニエル瓦など)、粘土瓦(いぶし瓦、釉薬瓦など)には使用しないでください。
- 屋根材の既存塗膜の劣化が著しい場合や素地表面が露出し、ぜい弱な場合は、塗替え塗膜のはく離の原因となる可能性があるため、塗装は避け、屋根材の貼り替えをお奨めします。
- 2000年前後に製造されたノンアスペクト化粧スレート瓦には非常にぜい弱な製品があり、塗膜剥離の原因となりますので塗装を避けてください。
- セメント系の屋根材(化粧スレートなど)で素地への吸い込みが多い場合は、下塗にワイドシーラーEPO、ワイド浸透シーラーEPOを使用してください。

- アスファルトシングルなどの斜壁から直接雨水が壁面に流れる構造の場合、経年劣化塗膜が壁面を汚染するおそれがありますので、ご注意ください。
- 化粧スレート瓦で上下の板の重なり部にすき間が少ない場合は、塗装前にスペーサー部材(タスペーザーなど)を挿入し、排水機能を維持してください。塗装後にやむを得ず皮スキーなどで縁切りする場合は、塗膜を傷めないように十分注意してください。
- 塗膜乾燥初期の降雨により、塗膜から界面活性剤が溶出し、雨水が集中する箇所で泡の発生、COD値上昇の可能性があります。雨水が河川に流入する恐れがある場合、地域の排水基準に則した管理を行ってください。

水系 ◆ ピーズコート・無機・無機BIO・F・Si・BIO・ピーズウォールSi・BIO

工程	塗材名	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ²)	回数	塗装間隔 (23°C)	塗装方法
1 素地調整	●素地は十分に乾燥させる。(含水率10%以下、pH10以下) ●下地のリエンタス・エフロレッサン・汚れは除去し、巣穴・不陸・段差などは、予めラフトンカチオンSCフィラーなどの建築用下地調整塗材で平滑にする。					
2 下塗り	サミブラ 清水	100 0~5	0.07~0.11	1	3時間以上	はけ塗り・ウールローラー塗り エアレス塗り
3 上塗り	ピーズコートシリーズ 清水	100 5~15	0.10~0.15	2	2時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り・ウールローラー塗り エアレス塗り

使用可能下塗：サミブラ、サミブラホワイト、カチオンシーラーEPO、カチオンホワイトシーラーEPO、リメイクシーラーEPO、ワイドシーラーEPOなど
使用可能上塗：ピーズコート・無機・無機BIO・F・Si・BIO・ピーズウォールSi・ピーズウォールBIO

[中塗仕様] ピーズコート無機・F

3 中塗り	ピーズコート無機・無機BIO-F中塗 清水	100 5~15	0.10~0.15	1	2時間以上	はけ塗り・ウールローラー塗り エアレス塗り
4 上塗り	ピーズコート無機・無機BIO-F 清水	100 5~15	0.10~0.15	1	2時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り・ウールローラー塗り エアレス塗り*

注：ピーズコート無機・無機BIO・Fの中塗りは、それぞれ対応したグレードの中塗りをご使用ください。

弱溶剤系 ◆ 1液ワイドピーズコートSi・BIO

2 下塗り	ワイドシーラーEPO	100	0.10~0.17	1	3時間以上	はけ塗り・ウールローラー塗り エアレス塗り
3 上塗り	1液ワイドピーズコートSi・BIO 塗料用シンナー	100 5~15	0.10~0.15	2	2時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り・ウールローラー塗り エアレス塗り*

*1液ワイドピーズコートSi・BIOをエアレス塗装する場合は30~50%希釈してください。

使用可能下塗り：ワイドシーラーEPO・ワイド漫透シーラーシリーズ・WBグリップシーラーEPOなど

下地調整

工程	塗材名	調合 (重量比)	標準所要量 (kg/m ²)	回数	間隔時間 (23°C)	施工方法
下地調整 (新設)	●下地は十分に乾燥させる。(含水率10%以下、pH10以下) ●下地のリエンタス・エフロレッサン・汚れは除去し、巣穴・不陸・段差などは、予めラフトンカチオンSCフィラーなどの建築用下地調整塗材で平滑にする。					
1 下地調整 (改修)	●既存塗膜の浮き・影れ・剥げ・ぜい弱部分などは、下地に適した工法で除去する。 ●汚れ、塵埃やチョーキングなどは、施工環境に適した工法で除去する。 ●既存塗膜が剥がれている場合、シーパーを塗装してから主材塗りを行う。 (既存塗膜の段差は、同一機器による塗材で復元してください。) ●高圧水洗した場合、下地を十分に乾燥させる。 ●漏水が認められる場合には、事前に下地に適した工法で防水処理を施す。					

下塗り 新設仕様又は改修仕様で下地がぜい弱な場合

2 下塗り	カチオンシーラーEPO 清水	100 (無希釈)	0.07~0.17	1	2時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り
-------	-------------------	--------------	-----------	---	-------	-------------------

注：下地がぜい弱で吸い込みが苦しい場合は、巣穴が多い場合は、カチオンシーラーEPOまたはカチオンホワイトシーラーEPOを下塗りしてください。

上塗り ピーズコート軒天用P(ペイントタイプ)

3 上塗り	ピーズコート軒天用P 清水	100 5~15	0.10~0.15	2	2時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り
-------	------------------	-------------	-----------	---	---------------------------	-------------------

ピーズコート軒天用 S(セラミック配合細骨タイプ)

[平滑仕上げ]

3 主材塗り	ピーズコート軒天用S 清水	100 0~5	0.3~0.5	2	3時間以上 (最終養生) 24時間以上	ウールローラー塗り
--------	------------------	------------	---------	---	---------------------------	-----------

[さざなみ仕上げ]

3 主材塗り	ピーズコート軒天用S 清水	100 0~3	0.5~1.0 (kg/m ²)	1~2	(最終養生) 24時間以上	バーンローラー細目塗り
--------	------------------	------------	---------------------------------	-----	------------------	-------------

下地調整

工程	塗材名	調合 (重量比)	標準所要量 (kg/m ²)	回数	間隔時間 (23°C)	施工方法
1 下地調整	●下地は十分に乾燥させる。(含水率10%以下、pH10以下) ●下地のリエンタス・エフロレッサン・汚れは除去し、巣穴・不陸・段差などは、予めラフトンカチオンSCフィラーなどの建築用下地調整塗材で平滑にする。 ●幅0.3mm以上のひび割れは、充填などの適切な処理を行なう。					

下塗り

2 下塗り	カチオンシーラーEPO 清水	100 (無希釈)	0.07~0.17	1	2時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り
-------	-------------------	--------------	-----------	---	-------	-------------------

上塗り ピーズコート基礎用P(ペイントタイプ)

3 上塗り	ピーズコート基礎用P 清水	100 5~15	0.10~0.15	2	2時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り
-------	------------------	-------------	-----------	---	---------------------------	-------------------

ピーズコート基礎用S(セラミック配合細骨タイプ)

3 主材塗り	ピーズコート基礎用S 清水	100 5~15	0.3~0.5	1	3時間以上	ウールローラー塗り
4 主材塗り	ピーズコート基礎用S 清水	100 0~3	0.7~1.0	1	(最終養生) 24時間以上	バーンローラー細目塗り

取扱い上の注意事項

●取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。

防塵マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど

●容器から取り出す時に、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。

●皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。

●蒸気・臭いなどを吸引しないで気分が悪くなった時には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。

●目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。

●誤って飲み込んだ場合には、直ちに医師の診察を受けてください。

●取扱い後は、手洗い(いいい匂い)や鼻孔洗浄を十分に行ってください。

●容器は密栓し、40°C以下で子供の手のかない一定の場所を定めて保管してください。特に下記の場所の保管は避けてください。

雨水や直射日光の当たる場所・高湿多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れるある場所など

●スプレー・ミストや臭い・蒸気などが、居住者・隣家・車両などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。

●臭いは食料品・飲食器・衣類などにうつる場合がありますので、作業場所から遠ざける。または養生するなど、十分に注意してください。

●捨てる時には、産業廃棄物として処分してください。

●弱溶剤系・溶剤系塗料を用いる場合：下記の取扱事項に注意してください。

●引火性の液体ですので、火気のあるところでは使用しないでください。

●吸入すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますから、換気を良くし、蒸気・スプレー・ミストなどを吸い込まないように必ず有機ガス用防毒マスクまたは送気マスクなどの保護具を着用してください。

●取扱い作業場所には、局所排気装置を設けてください。

●容器から取り出すときは、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布で拭き取って、水の入った容器に保管してください。

●火災時には炭酸ガス消火器・泡消火器・または粉末消火器を用い初期消火をしてください。